

看護・医療職者の倫理を 国際研究とデュアルユース(軍民両用)から再考する

スピーカー: 近藤麻理(東邦大学看護学部・教授)

日時: 2018年1月26日(金) 19:15~20:45
(19:00~のBiPH年次総会に引き続き行います。)

場所: 昭和生涯学習センター
(名古屋市営地下鉄御器所駅2番または3番出口から300m)



年が明けて最初の勉強会のお知らせです。昨年、「起業」という保健医療従事者には少し馴染みが薄い話をとても興味深く話してくれた近藤さんの今年のトピックは、なんと「デュアルユース」です。

いったい軍事研究が私たちにどのように関わって来ているのでしょうか？近藤さんが、大学の研究倫理委員を務める中で気づいたという、その重要性をシェアしてもらいます。

スピーカーからのメッセージ

看護・医療職者は、グローバルで学際的な研究をしているのでしょうか。現在は、どの分野でも国際的で学際的な研究が求められています。そうなると、研究費獲得もグローバルになるのですが、その補助金の出どころは確認できるでしょうか？補助金の中には、軍事目的の予算が紛れ込んでいるかもしれません。

” 科学は、戦争によって進歩したのだから、軍事費を使う研究は普通だ” という意見も聞かれます。

” 軍事用の研究は、民間にもGPSのように広く使えて役立っているのだから” という意見もあります。

あなたは、今までこのような「軍民両用」について考えたことがあるでしょうか？ぜひ、この機会と一緒に考えてみませんか。